

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイセンターこすもす		
○保護者評価実施期間	2026年2月28日		～ 2026年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2026年2月28日		～ 2026年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数での支援体制を活かし児童一人ひとりの特性や発達段階に合わせたきめ細やかな支援を行っている。児童のペースや気持ちに寄り添った関わりを大切にしている。法人の理念でもある「自他相愛」を元に児童に寄り添い安心安全な支援を提供している。	児童の興味関心を取り入れながら安心して楽しく参加できる活動内容を工夫している。笑顔あふれる活動の提供を都度実施し季節に応じたイベントの実施や保護者参加型の参観も実施している。	個別支援の記録や児童の反応を職員間で共有しより効果的な支援方法の検討を行う。児童一人ひとりの発達や課題に応じた支援の質の向上を目指し継続的に取り組んでいく。
2	職員同士の連携やコミュニケーションが取りやすく児童の様子や支援内容の共有がしやすい環境が整っている。日々の支援の中で気づいたことや児童の変化を職員間で伝え合うことでチームとして一貫した支援を行う事ができている。	日々の申し送りや話し合いを通して児童の様子や支援方法を共有している。また気づきや課題をその都度共有することで支援内容の見直しや改善につなげている。	定期的な振り返りやミーティングを行い支援の質の向上を図る。職員間での情報共有をより充実させ児童にとってより良い支援につながる体制作りを継続していく。
3	保護者との関係づくりを大切にし家庭との連携を意識した支援を行っている。日々の児童の様子や成長の様子を共有することで保護者の安心感につながるよう努めている。	日々の様子を伝えることで保護者の安心につなげるとともに家庭での様子も共有してもらおうよう努めている。また家庭での様子も共有していただくことで児童の生活全体を踏まえた支援につなげている。	日々の様子を口頭や連絡帳にてお伝えをし情報の共有を継続し児童の成長を共に支えていける関係づくりを深めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休暇期間などにおいて、継続した支援の機会が少なくなり、支援が途切れてしまう場合がある。	日々の支援を優先する中で記録や振り返りの時間が十分に確保できないことがある。長期休みについては児童発達支援と放課後等デイサービスの支援のバランスも早急に検討していく。	活動内容や支援方法を記録し職員間で共有することで支援の質を高めていく。年間を通して支援が十分に行える体制や日課の整備をしていく。
2	地域との交流や社会経験の機会が十分とは言えない部分がある。	安全面への配慮や時間等により活動の幅が限られることがある。	外出活動などを計画的に取り入れ児童が様々な経験を積める機会を増やしていく。
3	保護者への支援や情報の提供・共有に、都合により遅れてしまう時がある。	保護者との関わりが職員ごとに異なることがあるため。	情報共有の方法を整理し保護者への支援体制をより充実させていく。